

# 令和6年度の取り組みについての反省・評価

学校法人 北邦学園

認定こども園札幌自由の森幼稚園・保育園

## 建学の精神 「自然から学ぶ」

### 1 本園の教育保育目標

◎思いやりのある子                      ◎たくましい子                      ◎考える子

【各学年のねらい(年間)】

年 齢	年 間 の ね ら い	反 省 (園及び教職員自己評価)	評 価
0歳児	一人ひとり安心してゆったりと過ごし、保育教諭や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめての集団生活の場で、家庭にいるのと変わらず過ごすことができるように、家庭と情報交換し合い安心して、尚且つ周りの友だちにも気づき、保育教諭とも一緒に楽しむ事ができた。</li> <li>○ 自分自身が気持ちにも余裕があったので、子どもと関わる時にはゆったりとその子の遊びを探り、分かった所は、時々1対1で遊ぶ機会も真剣に向き合えたと思う。</li> <li>○ 新入園児が一人ずつ増えていったので、一人ひとりに合わせながら園生活に慣れたり、遊ぶ事ができた</li> </ul>	A A A
1歳児	保育教諭や友達に親しみをもち、自分の思いを表現して遊ぶことを楽しむ、のびのびと体を動かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園で子どもたちが過ごす時間は、家庭のように一人ひとりゆったりとおだやかに生活できるような関わりを心掛けた。</li> <li>○ ひとり遊びをしていた当初でしたが、保育教諭と関わりをもつことで安心して過ごす様子が見られました。生活を共にすることで友達と関わりをもつことも増えました。自分の思いを出すことが難しい子もあり、全体的に言葉に出すことを促しながら努力した</li> <li>○ 友達との関わりが増えたり「自分で！」の気持ちが強くなる年齢なので、丁寧に想いを汲み取って必要な援助をしていく努力をした。</li> <li>○ 少しずつ関わりを深めて行ったり、身振り手振りや言葉が出る子は言葉で表現しようと</li> </ul>	A B A A

		<p>する子もおり、伝え合いながら遊んだりする姿が見られていた。常に関わりを持つよう間に入ったり、言葉などで表現できるように手本を見せたことが良かった。</p>	
2歳児	<p>(くるみ)            色々な事に興味関心を広げ自分なりの意欲や満足感を感じながら、色々な事に興味関心を広げ、友だちと一緒にのびのびと活動する事を楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊びや行事を経て、保育教諭や友達との関係が深まっていった。友達の楽しむ姿に刺激を受けたり、自分の気持ちを相手に伝えようとする姿も見られた。集団での様子と一人ひとりの様子を把握して、次のステップへ挑戦できるよう進級に向けて配慮してゆきたい。</li> <li>○ 個人差は大きかったが”自分なりの“という意味ではかなり達成できいたように感じる。年度末の今では、”友達と一緒に“という所もそれぞれ関わりを深く持って友達と接することができるようになったと成長を感じる。</li> <li>○ 一人ひとりの興味関心のあることに寄り添いながら保育ができた。また苦手意識の強い子にも少しずつ経験を通して、活動を広げられたのではと思う。興味関心を広げるという意味では、細切れに遊びを設定するのではなく、子どもたちの遊びを見て続きをできるようにしたり、発展させつなげて行けると、満足感や主体性を育むことにつながるのではないかと思う。</li> </ul>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>
	<p>(たんぼぼ)            保育教諭や友達に親しみをもち、様々な活動への興味関心を広げ、自分らしさを発揮しながらのびのびと遊ぶことを楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初めての集団生活に不安を感じないようによう教師間で配慮し、子どもたちがのびのびと過ごせていた。</li> <li>○ 個人差はあると思うが一人ひとりが、保育教諭や友達に親しみをもち過ごしていたと思う。色々な遊び(活動)への興味関心を持ち、少しずつ自分らしさを発揮しながらあそべているように感じる。3月の修了式までに、さらにのびのびと遊びを楽しめるように援助していけたらと思う。</li> <li>○ 自由遊びの際、友達同士の遊びを見守りつつ、うまくいっていない部分では言葉がけをしたり、提案した</li> </ul>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>
3歳児	<p>様々な遊びや活動に興味をもつ中で、自分の気持ちや考えをのびのびと表現しながら友達と一緒に遊ぶことを楽しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一年を通して伸びていく姿が見られた。</li> <li>○ 活動する中で喜びや達成感を共有し、友達と一緒に遊ぶ橋渡しをした</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人遊びで満足に遊び込める子は、友達と一緒に遊ぶことへの楽しさも味わっているように思う。保育者は遊びが途切れないような配慮が必要だと感じた。</li> </ul>	A
4歳児	<p>様々な活動の中で、友達と一緒に遊ぶことや表現することを存分に楽しみ、気持ちや考えを伝え合ったり、受け止め合ったりしていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 少しずつ自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを受けとめ、子ども同士で問題を解決する姿が多くなっていると思った。</li> <li>○ 一年間を通して子どもたち一人ひとりに合わせた援助を行っていく事で、子どもたち自身で伝え合い受けとめて、関わる姿が増えた</li> </ul>	A A
5歳児	<p>活動に見通しをもって取り組み、共通の目的に向かって様々な友達と協力したり、互いの気持ちや考えを認めあったりしながら活動することへの充実感を存分に味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校進学へ向けて日々の取り組みや様々な行事を通してクラスの皆で一緒に活動することの楽しさや達成感を味わうことができた。</li> <li>○ 様々な活動や行事を通して友達の素敵な姿を認めたり、応援し合う姿が見られ、目的に対して同じ気持ちで取り組む</li> <li>○ こぶし組としらかば組と一緒に修行する事により、改めて自分達を見つめる良い機会がたくさんあった。存分に切磋琢磨できたと思う。</li> </ul>	A A A

## 2 重点的に取り組む目標・計画

課題	具体的な取組み	反省と評価（記述）	関係者評価委員（記述）	合評価
<p>1 「主体的な遊び」を引き出すため、保育環境の整備や構成の創意工夫</p> <p>&lt;環境構成の充実&gt;</p>	<p>☆年齢や育ちに適した玩具や環境作りの工夫と見直しの継続</p> <p>点検・工夫が一時的ではなく定期的に行う習慣の定着</p> <p>自由遊び時には、個々の主体性を大事にした援助のため職員より手厚い人数確保が必要な場面があった。</p> <p>危険に対する考え方の共有</p> <p>☆絵本の環境についての工夫～研究保育を通して～</p>	<p>&lt;教職員の反省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊戯室の玩具の配置場所など危険が無いかわりに職員で見直しを行った。子どもたちが「やってみよう」「もっとこうしたい」と思ってもらえるような環境づくりを進めていきたい</li> <li>○ 園庭にはたくさんの自然があり、植物や虫、又近くを通る電車を見たり、音を聞いたり、経験を通して自然に学ぶ事ができていた。</li> </ul> <p>&lt;園として反省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践活動を通じながら、玩具の入れ替えや環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「研究活動の様子」から、環境構成の工夫と充実が進められていることが分かりました。「主体性」については大人の立場、子ども側の考えの両面を捉えなければなりません。大人の考えに合わせるのではなく「自主性」なので、その違いとかかわりについて興味があります。絵本の読み聞かせは、小学校でも熱心におこなっています。小学生が園児に読み聞かせすることもできるかもしれません。</li> <li>○ 森の環境に合わせた玩具作りには大変興味深い所がある。また、森の中での遊びから危険察知・予測能力を体現化している所は、子ども達の成長に繋がり非常に感心</li> </ul>	A A A

	<p>「もりのとしょかん」「えほんのおうち」の継続的に楽しめるような工夫が必要</p> <p>☆<u>積極的な研修の参加による、主体的な保育についての理解</u></p> <p>森の自然環境を如何に安全に学びに活かすことが出来るかが、自然体験型の子ども園の課題。危険察知・危険予測能力の向上による主体的な保育の向上。</p>	<p>の見直しを図った。特に、研究活動として取り上げ、環境構成を考える事ができた。</p> <p>○絵本環境については、読み聞かせ会への参加等を通じ、読み聞かせの大切さを体感し、日々の保育に取り入れている。</p> <p>○研修を通して、いちいの保育を常に意識した主体的な子どもの育成に努めてきた。</p> <p>○研修を重視し、教職員のキャリアアップを目指した。</p>	<p>している。</p> <p>○森の環境がとても魅力的だと思います。先生方の評価にも記載されていたが、小さい年齢でも分かる様な、自由の森の中で見つけられる自然物、鳥や動物などの簡易的な冊子があれば、素敵だと思います。森ならではの四季を体を使って存分に感じて味わって欲しい。</p> <p>○とても良い環境の中で保育を受けさせていただいていると思います。その為の環境整備等もしっかり行っており、安心してお任せできました。危険察知、予測能力については、評価にもあったように保護者への理解も大切だと思います。どこまで回避させるのかの線引きは難しいと思いますが・・・、子供の発達段階などのおたよりなどがあると、理解も深まるのかなと思いました。</p> <p>○子どもたちのやりたい遊び、新しいおもちゃなどを使用した遊びを実際に使って楽しく遊んでくれたように感じる</p>	<p>A</p> <p>A</p>
<p>2 保護者理解と連携の推進</p> <p>&lt;保護者との相互理解&gt;</p>	<p>☆<u>コドモン配信について</u></p> <p>・スマートフォンでの閲覧、欠席連絡の使いやすさについての保護者からの好評の声・ペーパーレス化への効果・従来の紙対応への配慮 感染情報の継続配信・早期配信と再配信の実施・見やすい画面構成の工夫・写真付きのブログ配信 連絡欄内容の充実</p> <p>☆<u>保護者との信頼関係について</u></p> <p>・行事及び保育活動の保護者への完全公開、参観・参加</p> <p>・様々な取り組み</p> <p>・コドモン配信・参観日・親子レク・ブログ配信・園だより</p> <p>・ホームページ・電話連絡</p>	<p>&lt;教職員の反省&gt;</p> <p>○日々の子どもの姿や成長などを伝えたり、心の変化や気持ちから影響している姿など、保護者と話をして様子を見ることができた。園での姿だけではなく、家庭での姿を聞くことでわかる子供の姿や変化もあるため、今後も保護者と連携して子どもの姿を見守ってきたい。</p> <p>&lt;園として反省&gt;</p> <p>○ホームページからコドモンでの配信に変更したことにより、保護者が目にしやすくなったと好評、職員からも負担軽減の声あり 電話や対面による信頼関係も重視</p> <p>○コドモンを活用することにより、仕事の軽減や迅速な連絡体制を確立できた。より理解されやすい配信に心がけ、保護者との信頼関係づくりに努めた。</p>	<p>○情報の共有は信頼関係づくりの基盤となります。熱心な配信はさらに安心感も得られると思います。小学校のスタートカリキュラムについて、子ども園の立場で指摘いただけるとありがたいです。</p> <p>○先般の関係者評価委員会での保護者の皆さんからも「コドモン」の話が出てました。大変好評である、話が多く聞くことが行き、保護者の方々には、かなりの浸透があると感じ、このシステムは、これからも大いに活用すると共に、更には、様々な機能を追加しながら発展させるべきだと思います。</p> <p>○園の来園については、年齢が小さいと特に、親が行くことがペースを乱してしまい（周りの子や先生に対しても）迷惑になってしまわないかが、気がかりで遠慮してしまいました。親のいない時の様子を知りたいので、期間限定などで、クラスのガラスに目隠しを等をして、子ども達に気づかれない様に、こっそり見られる環境があると嬉しいです。</p> <p>○ドコモンでの配信がとても分かりやすくなったと思います</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面での会話・行事への参加</li> <li>・マザーズファザーズデイ</li> <li>・日常の来園・園バスの安全運行</li> </ul> <p>☆地域の信頼確保と連携・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりの送付による地域との連携強化</li> <li>・保護者・職員への交通ルールのさらなる徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参観日等の直接対話・電話連絡も活用しながら、各クラスのプログ配信にも努め、保護者との連携を図ってきた。</li> <li>○地域の中の“こども園”として信頼確保に努めているが、より地域に開かれた「こども園」を目指したい。</li> <li>○町内会及び小中学校との連携の強化のため更なる交流を模索していきたい。</li> </ul>	<p>ます。翌月の予定も早く出していただき、仕事の調整もしやすくなりました。1号さんの長期休暇中の預かりの記入方法を直接先生から教えていただきましたが、何か簡単な入力方法のマニュアルがあるとわかりやすいかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コドモンの使い方が年々良くなっていて、保護者にわかりやすくしようという気持ちが伝わりました。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p>
<p>3. 職員の業務改善の推進</p> <p>&lt;働きやすい環境づくり&gt;</p>	<p>☆対話の場を効果的に設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間の業務に対するカバー意識を高め、話しやすい環境づくりの確立 シフト調整への理解と協力</li> </ul> <p>☆業務削減や時間の使い方の意識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力体制を明確にし、お互いに時間短縮に努めること</li> <li>・職員同士のコミュニケーションの広がり場の確保</li> </ul>	<p>&lt;教職員の反省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時間短縮を意識する職員が多く、前から計画的に進めることで残業が減った。それに付随し、先生同士のコミュニケーションが増えた。</li> <li>○働きやすい(休みやすい)環境が整っていると感じる。一方でカバー意識・その場の臨機応変の意識は課題を感じる。幼児・乳児・預かりの分かれた意識が大きいことが課題。</li> </ul> <p>&lt;園として反省&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員同士の気さくな声掛けにより一体感の醸成に努め、働きやすい職場づくりに努力した。</li> <li>○職員同士の連携により効率よく仕事を分担しながら業務の軽減を図り、定額退職を目指して努力した。</li> <li>○シフト制を実施し、勤務時間の明確化を図っているが、シフトに偏りがあり早番・遅番の調整に苦勞している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務の削減とエンゲージメントはどの職場でも課題となります。職員の皆様がより働きやすい環境になることを願っています。</li> <li>○働き方改革、ワークバランスを考慮した業務改善を進めている一方、業務の内容について不満がある職員がいるのも事実である。その両極端のバランス取りが今後の課題となると言えます。</li> <li>○クラスの先生と預かりの先生とで、あまり連携が取れないのかな?と思う点が多々あった。(オムツの取れ具合の把握など)先生方が働きやすく、風通しの良い環境である事はとても大切だと思うので、重点において取り組んで行って欲しい。</li> <li>○限られた時間の中で行事の準備など本当に感謝の気持ちでいっぱいです。評価・反省を見て、年齢や考え方の違いのある中で大変なこともあると思いますが、普段の園生活でその大変さを園児や保護者には全く見せず、とても素敵な先生方でした。</li> <li>○先生の退職が減ると保護者の安心にもつながるので、ぜひ働きやすい環境づくり“をすすめていただきたい。</li> </ul>	<p>A</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>

<p>4 安全管理・危機管理の視点での環境・物品整備の継続</p> <p>＜安全を重視した園内体制づくり＞</p>	<p>＜命を守る基本的な安全管理、環境整備や子どもへの働きかけを継続する＞</p> <p>☆<u>コロナ・RS ウィルス・手足口病</u>とうの感染症予防対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、園で感染状況の現状を把握し、発信することにより、家庭及び園での予防に対する意識向上</li> </ul> <p>☆<u>防災・防犯への備え</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な防災及び防犯訓練 消防・警察署等との連携</li> </ul> <p>☆<u>園バス運行の安全管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務としてマンネリ化予防対策と注意喚起</li> <li>・添乗者と運転手の連携を図りつつ、お互い緊張感を持って対応し、最終確認の徹底</li> </ul> <p>＜安全管理と主体的に避える環境を目指した園舎内外の環境整備＞</p> <p>☆<u>園舎内外の環境整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットの日々の確認と意識</li> <li>・子ども達が主体的にのびのび遊ぶ環境づくり</li> <li>・子どもの安全意識の向上を目指した働きかけ</li> <li>・子どものためのバリアフリー対策への取り組み</li> </ul>	<p>＜教職員の反省＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染状況や防災・防犯への危機意識は高い。防災・防犯訓練は毎回すこく考えられていると感じる。小さな危機意識を感じているうちに、対策をとる必要があると感じるため、情報交換を密にしていきたい。</li> <li>○乳児の防災リックの中に靴下を入れておくのはどうか。うんどう公園の下の車庫にお下がりのくつ・長ぐつなどを保護者に寄付していただき、置いておくのはどうか。</li> </ul> <p>＜園として反省＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的に園内消毒を行い、毎日の感染状況を配信し保護者と連絡を密に取り、協力を得ながら感染の広がりを押さえる事ができた。</li> <li>○不測の事態に備え、避難訓練・不審者に備えた防犯訓練を計画的に実施することができた。</li> <li>○園バス運転者への安全運転を日々呼びかけ、注意喚起を行う事ができた。</li> <li>○職員全員が常に危機管理意識を持ち、子どもたちの安全のために見守り、声掛けを行い、事故の未然防止に努める事ができた。</li> <li>○森の環境を含め、施設設備の老朽化への計画的対策が必要となってきたと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理意識を高めることはとても大切です。「ヒヤリハット」と「正常なバイアス」対策は日常的に取り組まなければなりません。</li> <li>○数年前の冬にありました大事故から、安全管理に対する意識が格段に高まっている様に思います。安全・安心が何においても最も大事です。子ども達的笑顔を絶やす事のないよう励んで頂きたいと思います。</li> <li>○避難訓練の回数が多くてとても良い事だと思った。評価でも記載されていたが、外に避難する際、裸足かもしれないし、大雪や大雨が降ってくるかもしれないことに備え、全員分は無理かもしれないが、くつやきかえ等を車庫にストックしておくのは、とても良いと思った。夏も冬も水分補給の呼びかけをマメにして欲しい。預かり利用して子供を迎えに行った際、ボツンと玄関に居る子をたまに見かけます。私が出る時は、施設されるのを確認してから離れるようにしているが心配になる場面があった。</li> <li>○園でどのような感染症対策を行っているのか、具体的な事は知りませんが、今年度は感染者がひとりでもそこからあまり増えていく事が無く、幼稚園でしっかり、感染症対策をしていたらいたるんだとありがたかったです。</li> <li>○今年は消毒などのおかげか、感染症のひろがりがありました。なかったように感じた。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
---	---	--	--	--

その他でお気づきの点があればお書きください！

＜教職員の反省＞

- 職員のお子様や園児の家庭からお下がりを持ち寄り、交換会（又は自由にどうぞスタイル）汚れても良い服やくつとなる、保護者の意識も変わり、子ども自身も思い切り汚れてのびのび遊ぶようになる！（そうすることの意図や何も気にせず思い切りあそぶことの大切さをつたえる）などいかがでしょう☆

＜関係者評価委員のご意見＞

- 子供のことや研修などで連携できることがあればお願いします。
- 町内会からの要望を出来るだけ聞き入れて頂き、大変感謝しております。今後も様々な要望等があるとは思いますが、お互いに協力し合える関係を願っております。
- いつも子供達と一生懸命向き合い、見守って頂きとても感謝しています。これからも自由にのびのびと自由の森らしく、子供達と先生方が笑顔いっぱい過ごせる事を願っています。ありがとうございました。
- 環境が素敵な幼稚園ですが、それ以上に先生や職員の方皆 さんが、とても温かいです。とても素敵です。6年間ありがとうございました。